

令和7年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
視能矯正学演習Ⅲ		演習	山本 雅美・山寄 統子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
本演習では基礎視能矯正学Ⅲの授業と並行し、斜視検査の基礎と応用について学びます。基礎的知識を固めながら、適切に検査を実施し、得られた検査結果を評価し考察する力を身につけることを目的としています。				
授業の到達目標				
①各視能検査の目的、方法、結果の解釈について理解する。 ②正しい検査手順で行い、カルテ記載ができる。 ③各検査の違いを理解し、結果を評価することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	立体視検査・網膜対応検査①（実習室） 授業開始時期：基礎視能矯正学Ⅲ第5回終了後			
2	立体視検査・網膜対応検査②（実習室）			
3	立体視検査・網膜対応検査③（実習室）			
4	立体視検査・網膜対応検査④（実習室）			
5	立体視検査・網膜対応検査⑤（実習室）			
6	眼球運動検査①（実習室） 授業開始時期：基礎視能矯正学Ⅲ第9回終了後			
7	眼球運動検査②（実習室）			
8	眼球運動検査③（実習室）			
9	眼球運動検査④（実習室）			
10	眼球運動検査⑤（実習室）			
11	輻湊・開散の検査①（実習室） 授業開始時期：基礎視能矯正学Ⅲ第13回終了後			
12	輻湊・開散の検査②（実習室）			
13	輻湊・開散の検査③（実習室）			
14	輻湊・開散の検査④（実習室）			
15	輻湊・開散の検査⑤（実習室）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	50%	毎回の授業で取り組む課題について、理解力、考察力、表現力を評価する。（評価基準は別途示す。）		
小テスト				
平常点				
その他	50%	実技試験により評価を行う。（評価基準は別途示す。）		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学 第3版	小林義治 他編	文光堂		
眼科検査ガイド 第3版	根木昭 監修	文光堂		
視能学エキスパート 視能訓練学 第2版	若山暁美 他編	医学書院		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
備考				